

第10回

(通算3556回) 例会
令和5年9月14日
例会場：ホテルアークリッシュ豊橋

気候変動への対応 ～大雨時の地域防災について～

社会奉仕委員会 担当



2023-24 RI テーマ ● 世界に希望を生み出そう

9月 ロータリーの友月間



福井 敬 会長

豊田 将也 様

柳原 茂 社会奉仕委員長

会長挨拶

福井 敬 会長

地図は私たちの生活に当たり前にあるもので、切っても切れないものになっています。日本地図を作った伊能忠敬は子供の頃から大変優秀だったため、19歳の時に千葉の佐原の名家である伊能家に婿養子入りしました。忠敬が養子入りした頃の伊能家は破産寸前だったそうですが、忠敬が隠居するまでに約35億円の財を成したと言われています。天明の大飢饉の時には自分の蔵に残っている米を住民に安い金額で売り続けました。また、質屋に資金を入れ、農民からの質入れは低利でやるように促して生活を助けました。更に、隠居後は17年も掛けて全国の測量を行い日本地図を作り上げるという偉業を成し遂げ、本来国費で行うところを最初の数年はほぼ自費で賄いました。忠敬には利他への奉仕、国への奉仕精神の血が流れていたのではないかと思います。これは正にロータリーの精神と共感できるものがあると思います。また、隠居後に地図作りという偉業を成し遂げ、情熱を絶やさなかった彼の人生は、現代の人生100年時代をどう過ごしていくかを示唆しているように思います。

講師紹介

柳原 茂 社会奉仕委員長

数年前までは私たちが暮らす東海地方で「防災」と言うと、東海・東南海地震への対応が中心でした。しかし最近では、夏の最高気温の上昇や超大型の台風、線状降水帯といった気候変動に対する防災が急務になっていると感じています。この様な状況に対して私たちはどう行動を起こすべきでしょうか。本日の卓話はそのヒントになりましたら幸いです。

本日卓話をしていただく豊田将也先生は、蒲郡市出身で岐阜大学卒業後、日本学術振興会特別研究員、京都大学防災研究所 沿岸災害研究分野 研究員を経て2021年4月から豊橋技術科学大学 大学院工学研究科助教として建築・都市システム学系に所属し、安全安心地域共創リサーチセンターも兼務されています。

気候変動への対応～大雨時の地域防災について～

豊橋技術科学大学 豊田 将也 助教

まず始めに、6月2日の豊橋の大雨災害についてお話をさせていただきます。その日は昼過ぎから夜に掛けて大雨が降りました。朝に一度川の水位はピークを迎え、一度小康状態になりましたが、午後から線状降水帯の情報が発表され、中小河川の柳生川と梅田川が氾濫する状況になりました。特にこの災害は夕方の交通が混雑している時間に河川の氾濫が起きたため、帰宅困難者や浸水した車が多数発生し被害が増大したと考えられています。また、二川の降水量は500mmを超えており、私が把握している中で、今年日本全国の大雨災害の中では最も雨が降った地域となっています。更に、統計的なデータから今回の雨は100年に一度降るかどうかというもので、とてつもない降水量だったことが分かりました。

愛知県の伊勢湾と三河湾は高潮が危ないと言われていた地域です。高潮は、台風や低気圧が発達して近づく時に、通常の潮位に比べて異常に上昇することを言います。高潮は高波と同時に発生するため、動く水位が大きく、台風通過後も水位が下がりにくいという特徴があります。実際に三河湾で起きた高潮は、古いもので1959年の伊勢湾台風、1961年の第二室戸台風に始まり、あまり報道されていないだけで5年から10年の間隔で発生しています。前回は5年前の2018年でしたので、そろそろこの地域に襲来する台風があってもおかしくないということで、警戒を怠ってはいけないと考えています。

高潮は台風や低気圧によって発生するため、これらの影響が気候変動によって強くなると、大きく発達する特徴を持っています。もし気候変動後の非常に強い台風が三河湾に襲来した場合、豊橋市民病院付近まで浸水することが分かりました。また、潮汐や海面上昇の影響を受けた最悪の状況の場合は、水位が4m近くになることが分かりました。南海トラフ地震で予想さ

れる津波の最大水位は約2mから2.5mと言われているため、この地域は津波より高潮の影響に注意すべきだと思います。今後、伊勢湾台風クラスの台風の発生頻度が増加する可能性があるということや、日本付近で発生して2、3日で上陸する台風が増えてくることが考えられるため、各地域で防御レベルを上げる必要があると思います。

このような気候変動によって強大化した台風に対して我々はどうか対応すれば良いのでしょうか。各々が出来る取り組みとしてSDGsを用いて私の意見を述べさせていただきます。まず4番の「質の高い教育をみんなに」では、社員や従業員全員に防災の講演や、様々な状況を想定した訓練を行うことでより質の高い教育に繋がると思います。次に11番の「住み続けられるまちづくりを」では、自分の住環境を理解することが大切だと思います。地震や台風等状況に応じた避難経路や災害避難場所を把握する必要があります。最後に13番の「気候変動に具体的な対策を」では、気候変動に対応した生活リズムを整えることが大切です。4番も11番も自分の体調が整っていないと出来ません。また、天気予報をチェックする習慣もつけていただきたいと思います。以上が各々が出来る取り組みですが、気象庁のホームページや、高精度とされているアメリカ軍やヨーロッパの予報情報も活用していただきたいと思います。

前年度会計報告

中村 典司 会員



年次報告書の7、8頁に掲載されている会計報告を読み上げさせていただきます。

「ロータリーの友」読みどころ紹介

高坂 彰一 会員



横組16頁からは、関東大震災から100年ということで東京RCによる「Rotary Home」の建築の経緯やその考え方の源である江戸時代の老中の考え方が掲載されています。

縦組4頁からは「読み書きが苦手な子どものために」という題で竹田契一さんの講演が掲載されています。発達障害児には、昔は自閉症と呼ばれていたASD、注意欠如や多動症のADHD、読み書き能力や計算力といった算数機能に関する特異的な発達障害であるLDの3つのタイプがあります。これらの子ども達と接する時は、その子の優れたところをしっかりと認めることが大切だと書かれています。

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「米山功労クラブ感謝状」が届きました。

ニコニコBOX

鈴木 良昌 ニコニコ委員

- 本日の講師豊田将也先生、ようこそ豊橋RCへ。タイムリーな卓話の演題で大変楽しみにしています
福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事
- 本日の例会を担当させていただきます
柳原 茂 社会奉仕委員長
- 私の息子、豊田将也が例会の卓話でお話をさせていただきます。ありがとうございます
豊田 正博 会員
- 昨年度の年次報告書を配布させていただきました
池田 至 前年度会長 三浦 裕司 前年度幹事
- 先週の例会で、前年度100%出席者の発表をさせていただきました
福井 一裕 前年度出席委員長
- 久しぶりに例会に出席する事が出来ました。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくご指導願います
福井 恒雄 会員
- 春日井RCの55周年記念講演のチラシをお配りしました。ポリオの講演がありますので、よろしかったら参加してください
高山 景一 会員
- 先日、松坂良太会員御夫妻と富士山にある宝永山2,693メートルに登ってきました。長い間脚の状態が悪く登山は夢でした。4年前人工関節の手術を両脚行い、このたび人生初の登山ができました。当日は天候にも恵まれ充実した1日でした。良太さん、ありがとうございます
伊藤 健一 会員 (順不同)

本日のゲスト

豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 助教 豊田将也 様

歌

ソングリーダー 山本 光伸 会員



「四つのテスト」

誕生祝い



青木 良浩 会員
(S.38年9月20日生)

牧野 栄子 さん
(9月5日生)

出席報告

杉田 洋 出席委員長

当日出席者 72名 計算会員数 101名中29名欠席
総会員数 112名 出席率 71.29%

例会予定

- 9月21日(木) クラブ・フォーラム「社会奉仕」(夜間)
- 9月28日(木) ガバナー補佐訪問